

柔整・岡山社団がアムダと災害協定

避難所での柔整ニーズの高まり背景に

7月28日、公益社団法人岡山県柔道整復師会（山崎邦生会長、岡山社団）と、災害支援活動を全国で展開している特定非営利活動法人AMDA（アムダ）が、災害支援に関する連携協力協定を締結した。今後、災害に伴う避難所への柔整師派遣などで協力を図っていく。

AMDAは長年、鍼灸も含めた災害時医療支援活動を実施してきたが、今年度の熊本を中心に発生した「7月豪雨」において、初めて柔整師を避難所



締結書を手に記念撮影。左から山崎会長、内田会長、AMDA菅波理事長（AMDA提供）

へ派遣した。被災した家の片付け等によるケガの手当や、避難所生活で身体に異常をきたした被災者のケアに当たる中、多くの被災者に喜ばれたという。今回の協定締結は、既にAMDAと協定関係にある岡山県鍼灸師会（内田輝和会長）の推薦があったことに加え、被災地での柔整施術のニーズの高まりが背景にある。

同日の締結式で、山崎会長は「応急処置と被災者と触れ合う施術に関しては、柔道整復のできるところなので、マンパワーの面でぜひ協力したい」と話した。

AMDAと柔整団体の協定は、昨年8月に締結した兵庫県柔道整復師会に次いで2例目。